



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月14日

上場会社名 株式会社レッド・プラネット・ジャパン 上場取引所 東
 コード番号 3350 URL http:// www.redplanetjapan.com
 代表者 (役職名) 代表取締役 CEO (氏名) ティモシー・ハンシング
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 王生 貴久 (TEL) 050 (5835) 0966
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	1,854	43.4	△310	-	△276	-	219	△26.5
2018年12月期第3四半期	1,293	49.8	△84	-	△197	-	298	△19.6

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 132百万円(△78.1%) 2018年12月期第3四半期 603百万円(62.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	4.24	4.22
2018年12月期第3四半期	10.00	9.60

(注) 当社は2019年4月10日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	18,465	5,862	31.2
2018年12月期	16,436	4,977	29.7

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 5,768百万円 2018年12月期 4,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	-	0.0	-	0.0	0.0
2019年12月期	-	-	-	-	-
2019年12月期(予想)	-	0.0	-	0.0	0.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

2019年12月期の連結業績予想は、現在精査中であり、当該連結業績予想については、今後、取り纏まり次第速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無
- 新規 6社 (社名) 特定子会社には該当しませんが、以下6社が新たに連結子会社となります。
- 除外 社 (社名)
- Red Planet Hotels (Thailand) Limited
- Red Planet Hotels Two (Thailand) Limited
- Red Planet Hotels Three (Thailand) Limited
- Red Planet Hotels Four (Thailand) Limited
- Red Planet Hotels Five (Thailand) Limited
- Red Planet Hotels Six (Thailand) Limited

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
- ④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	56,809,487株	2018年12月期	30,757,033株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	9,265株	2018年12月期	5,010株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	51,705,993株	2018年12月期3Q	29,822,939株

(注) 当社は、2019年4月10日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、ホスピタリティー業界のバジェットホテル分野に引続き経営資源を集中させ、国内およびアジア地域内でホテル資産を継続的に拡大するよう努めております。その具体的な方法として、既存ホテルからの収益および利益率を向上させること、そして新規ホテルを追加していくこと、の両方を目指してまいります。

Red Planetブランドの下で運営されている当社グループのホテルは現代的な外観と雰囲気重視したデザインで造られており、当社グループのホテルを同価格帯の他社ブランドホテルと差別化するために最先端のIT技術を取り入れております。特に、多言語による予約システム、アプリ、ホテルスタッフ、その他のツールは、インバウンドの外国人訪問者だけでなく、若い顧客層にもアピールしております。近年、日本への訪問客の増加が続いていることから、当社グループは主要な日本市場においてホテル資産を拡大することを目指しています。レッドプラネット札幌すすきの中央は予定通り2019年9月にオープンしました。そして、広島市に2020年後半、京都市に2021年にそれぞれホテルをオープンする予定です。これらの新規ホテルをオープンさせることを通じて、今後も増加し続ける訪日客の宿泊需要に着実に対応していきたくと予想しております。

当社グループの国内で稼働している6つのホテルはすべて順調に運営されておりますが、ラグビーワールドカップと東京オリンピックの特需を見込んだ新規参入による競争環境の激化に伴い、客室価格は前年同期と比べて伸びませんでした。費用面においてはレッドプラネット名古屋錦の固定家賃の負担等も重くのしかかりました。しかしながら当社グループは、この一時的な費用の増加は、将来の成長のために必要な基盤を築くために不可欠であると認識しております。当社グループの地域拡大は、当第1四半期連結期間にタイのRed Planetホテルを取得したことにより、大きく加速しました。タイで新規に取得したホテルを含めて、当社グループは現在合計11棟のホテル（1,729の客室）を運営しております。現在建設中の国内のホテル1棟、フィリピンに2棟の建設中のホテル（2020年上半年にオープン予定のRed Planet Manila The Fort、2020年下半年にオープン予定のRed Planet Manila Entertainment City）とタイに建設中の1棟のホテル（2021年上半年にオープン予定のRed Planet Bangkok Sukhumvit 8）を含めると、グループが運営するホテルは現在、合計15棟です。

以上の結果、当社グループの2019年第3四半期連結累計期間における業績は、引き続き売上高が成長し1,854百万円（前年同期比43.3%増）となりました。他方、タイのホテル群買収に関わる取引費用、買収したホテル群のブランディング費用等の営業費用の増加等により、営業損失310百万円（前年同期は営業損失84百万円）となりました。また、為替差益等として営業外収益174百万円を計上した一方で、支払利息等で営業外費用140百万円を計上したことにより、経常損失276百万円（前年同期は経常損失197百万円）となりました。特別利益として、受取補償金167百万円及び固定資産売却益380百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益219百万円（前年同期比26.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は18,465百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,029百万円増加いたしました。

流動資産は2,648百万円となり、前連結会計年度に比べて1,689百万円減少しております。これは主に、現金及び預金が1,038百万円減少し、仮払金をタイ事業取得等取引の対価として振替処理したためであります。

固定資産は15,817百万円となり、前連結会計年度に比べて3,718百万円増加しております。これは主に、建設仮勘定が922百万円減少したものの、タイ事業の取得等取引により建物及び構築物が2,122百万円増加したこと、及びリース資産が2,316百万円増加したためであります。

負債合計は12,602百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,143百万円増加しております。これは主に、長期借入金1,074百万円減少と、リース債務2,355百万円増加したためであります。

純資産合計につきましては、5,862百万円となり、前連結会計年度末に比べ885百万円増加しております。これは主に、2019年2月20日付第三者割当新株式の発行等により資本金が2,592百万円増加したこと及び資本剰余金がタイ事業の取得等取引に伴い1,830百万円減少したこと、並びに親会社株主に帰属する四半期純利益を219百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の連結業績予想につきましては、現在精査中であるため、記載しておりません。当該連結業績予想につきましては、算定ができました時点で速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,793,780	1,755,416
売掛金	169,665	241,460
商品及び製品	1,890	4,683
原材料及び貯蔵品	3,357	16,758
仮払金	885,446	—
その他	483,674	631,952
貸倒引当金	—	△1,746
流動資産合計	4,337,815	2,648,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	94,075	2,216,966
信託建物及び信託構築物（純額）	1,703,055	1,655,037
信託土地	1,812,286	1,198,686
リース資産（純額）	5,042,750	7,359,579
建設仮勘定	2,200,654	1,278,508
その他（純額）	223,342	363,166
有形固定資産合計	11,076,164	14,071,945
無形固定資産	7,857	5,854
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,371,798	2,096,537
貸倒引当金	△357,310	△357,310
投資その他の資産合計	1,014,487	1,739,227
固定資産合計	12,098,509	15,817,027
資産合計	16,436,324	18,465,553

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	39,500	125,369
未払法人税等	31,321	65,472
その他	882,320	812,883
流動負債合計	953,142	1,003,724
固定負債		
長期借入金	4,138,975	3,064,257
退職給付に係る負債	3,146	13,188
資産除去債務	—	20,756
リース債務	4,885,221	7,241,209
長期前受収益	1,304,994	1,250,931
その他	173,356	8,591
固定負債合計	10,505,693	11,598,934
負債合計	11,458,836	12,602,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	482,562	3,074,733
資本剰余金	4,124,915	2,294,673
利益剰余金	406,865	626,164
自己株式	△138,041	△138,611
株主資本合計	4,876,301	5,856,960
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△966	△88,062
その他の包括利益累計額	△966	△88,062
新株予約権	102,153	93,996
純資産合計	4,977,488	5,862,893
負債純資産合計	16,436,324	18,465,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	1,293,560	1,854,277
売上原価	255,954	370,382
売上総利益	1,037,606	1,483,895
販売費及び一般管理費	1,122,567	1,794,350
営業損失(△)	△84,960	△310,454
営業外収益		
受取利息	9,039	6,422
受取保険金	2,213	—
為替差益	—	166,424
その他	1,241	1,791
営業外収益合計	12,494	174,638
営業外費用		
支払利息	83,393	138,747
為替差損	40,419	—
その他	1,369	1,760
営業外費用合計	125,182	140,507
経常損失(△)	△197,648	△276,323
特別利益		
固定資産売却益	1,219,152	380,534
新株予約権戻入益	—	10,325
受取和解金	—	7,000
受取補償金	—	167,620
特別利益合計	1,219,152	565,479
特別損失		
固定資産売却損	—	11,714
固定資産除却損	76	213
違約金	178,309	—
和解金	37,000	3,240
繰上返済精算金	105,327	—
特別損失合計	320,712	15,167
税金等調整前四半期純利益	700,790	273,988
法人税等	96,169	54,689
四半期純利益	604,621	219,299
非支配株主に帰属する四半期純利益	306,132	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	298,488	219,299

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	604,621	219,299
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△743	△87,096
その他の包括利益合計	△743	△87,096
四半期包括利益	603,877	132,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	297,745	132,202
非支配株主に係る四半期包括利益	306,132	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年2月20日付で、Red Planet Hotels Limitedから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ2,535,245千円増加しました。

さらに、同日付でRed Planet Hotels (Thailand) Limited、Red Planet Hotels Two (Thailand) Limited、Red Planet Hotels Three (Thailand) Limited、Red Planet Hotels Four (Thailand) Limited、Red Planet Hotels Five (Thailand) Limited、Red Planet Hotels Six (Thailand) Limitedを株式取得したことに伴い資本剰余金が4,422,413千円減少しました。また、2019年4月10日において、10株を1株にする株式併合が効力発生しております。

上記に加え、2019年7月25日付で、EVO FUNDから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ19,950千円増加しました。また、新株予約権が行使されたことにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ36,976千円増加しました。

上記の他、単元未満株式の買取りによる取得等により、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が138,611千円、資本金が3,074,733千円、資本剰余金が2,294,673千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

（セグメント情報）

当社グループは、ホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。